

福岡県

福岡県退職小学校長会

結成 昭和42年1月24日

1 現在までの歩み

「健全な教育世論の喚起につとめ、本県教育の振興に寄与すべきではないか」という一人の退職校長の声から、昭和41年9月、本会の結成発起人会（各地区代表1名、計6名）を結成した。

昭和42年1月24日、退職校長907名の出席者により結成総会を開催し、その後、各郡市の組織の結成促進を図り全県下に亘る。

平成29年度末、政令市小学校長会（福岡市退職小学校長会・北九州市退職小学校長会）が本会から退会する。それに伴い、平成30年度から県域の6地区、28支会、会員数1700有余名による組織改編を行った。会長及び事務局は2年ごとに6地区がローテーションで務めている。

2 基本方針

(1) 学校と地域の連携・協働を推進する活動など社会貢献活動の推進を図る。

具体的には、「地域学校協働活動」の周知を図るとともに、「地域学校協働活動」への参画と活動の推進を図る。

(2) 会員相互の所属意識の高揚と組織活動の活性化を図るとともに、会員の豊かな生き方の実現を目指す。

(3) 福岡県小学校長会との交流会や福岡県教育委員会との教育懇談会を実施して、本県教育の現状や施策等についての理解を深め、各支会における学校支援活動の推進を目指す。

(4) 福岡県市町村教育委員会連絡協議会及び県退職中学校長会との連携を密にし「ふくおか教育月間」の周知と「教育の日」制定推進についての支援を行う。

(5) 地区内支会間交流を促進し、地区運営体制の改善及び活動の活性化を図るとともに、3専門部会の運営・内容の一層の改善を図り、教育課題等の情報収集と発信に努める。

3 本年度の重点活動

「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会制度）の脆弱性を補うとされる「地域学校協働活動」の周知を図ると共に、その推進を図る。社会総がかりの教育が叫ばれている昨今、コミュニティ・スクールを推進する学校運営協議会と地域学校協働活動の関係は自転車の前輪と後輪に例えられる。その後輪として、目標達成のための具体的な活動を推進する地域学校協働活動について周知を図ると共に、その推進を図り、学校教育の充実に資する。

4 役員

- 会長 能間 瀧次
- 副会長 釜瀬 計 ・ 杉 孝信 ・ 今村 通博
高木 正雄 ・ 皆川 待子 ・ 清水 唯宏
- 理事 12名 ○ 支会長28名
- 専門部幹事 16名 ○ 顧問 1名
- 専門部長 前田 一実 ・ 馬場 正幸 ・ 空閑 正臣
- 事務局長 鶴田 安秀
- 事務局次長 立和田 正美
- 事務局幹事 朝日 文隆



福岡県退職小学校長会総会